

市報 松江

8

August

特集 松江市美保関伝統的建造物群保存地区が
国の重要伝統的建造物群保存地区に選定



小泉八雲とセツが出会ったまち 松江



2026年 令和8年 Vol.257

MATSUE

祝

松江市美保関伝統的建造物群保存地区が 国の重要伝統的建造物群保存地区に選定

5月22日に国の文化審議会が開催され、松江市美保関伝統的建造物群保存地区（以下、美保関伝建地区）が、国の重要伝統的建造物群保存地区（重伝建）に選定されることになりました。

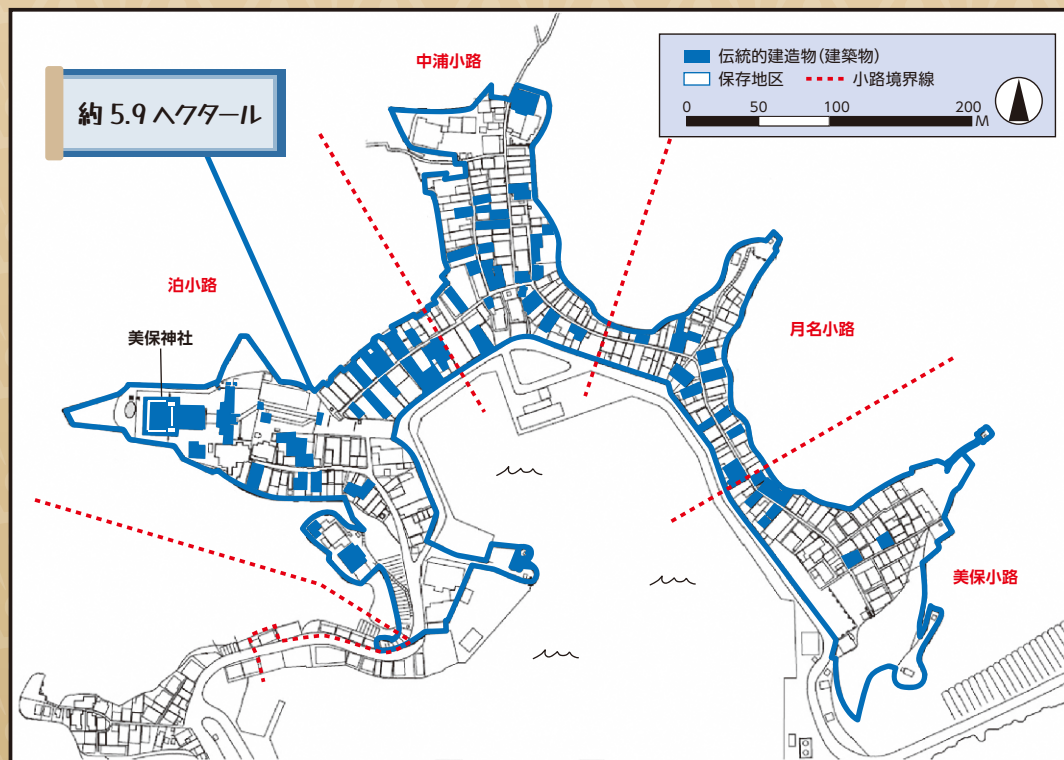
当地区は、松江藩の重要な港であり、北前船の風待ちの寄港地、美保神社の門前町として発展してきたことを示す伝統的建造物が多く残っており、また、江戸時代の地割も良く残っている点が高く評価されました。

重要伝統的建造物群

保存地区とは？

伝統的な町並みを維持、継承している地区のうち、国が特に価値が高いと判断した地区。市町村は選定後、国から町並みの保存事業のための補助などを受けることができます。

美保関伝建地区のエリア



美保関伝建地区の詳細はこちらから



〈市HP〉

美保関伝建地区のマップを
ホームページに公開中！

マップを見ながら
町並みを歩いて
みてください



文化財課
☎55-5956

美保関伝建地区はどんなところ？

point
1



昭和前期ごろの美保関
出典：松江歴史館

江戸時代から変わらない町並み

本通りとこれに直交する谷筋に面して町家や旅館建築が
建ち並び町並みは、江戸時代から変わっていません。

point
2



石敷舗装(青石畳通り)

伝統的建造物の特徴

美保関の町家は木造2階建が基本。切妻造平入※でいぶし
瓦の棧瓦葺です。下屋や庇の高さが統一されています。
※2つの傾斜面が山形に合わさった屋根で、軒先側に出入口がある形式。

point
3



通り土間と居室部

祭礼と結びついた 住宅様式

1階は通り土間に沿って居室を並べ
る1列型。1室目には美保神社の祭
礼の影響で、えびす神を祀る神棚が
あります。

point
4



石室(昔の保冷室)

弁天波止場
常夜燈

美保関
おかげの井戸

伝統的な 工作物もいっぱい

北前船の風待ちの寄港地、美
保神社の門前町としての繁栄
を象徴する工作物も残ってい
ます。

point
5



うでぎ 装飾のある腕木

軒や下屋の出桁を支えている
腕木は凝った装飾が彫り込ま
れています。

日時／9月4日～10月24日の
金・土・祝前日と
10月4日(日)
日没後21時30分ごろ
9月12日からは「京都
芸術大学美保関ライト
アップP」も開催！

QRコード

各イベントの詳細はQRコードから！

10:00
12:00
13:00
15:00

美保関灯台特別公開

QRコード

19:00
20:40

小泉八雲朗読のしるべ

QRコード

10:00
12:30

記念式典&記念講演会

QRコード

9/12土

記念イベント

QRコード

